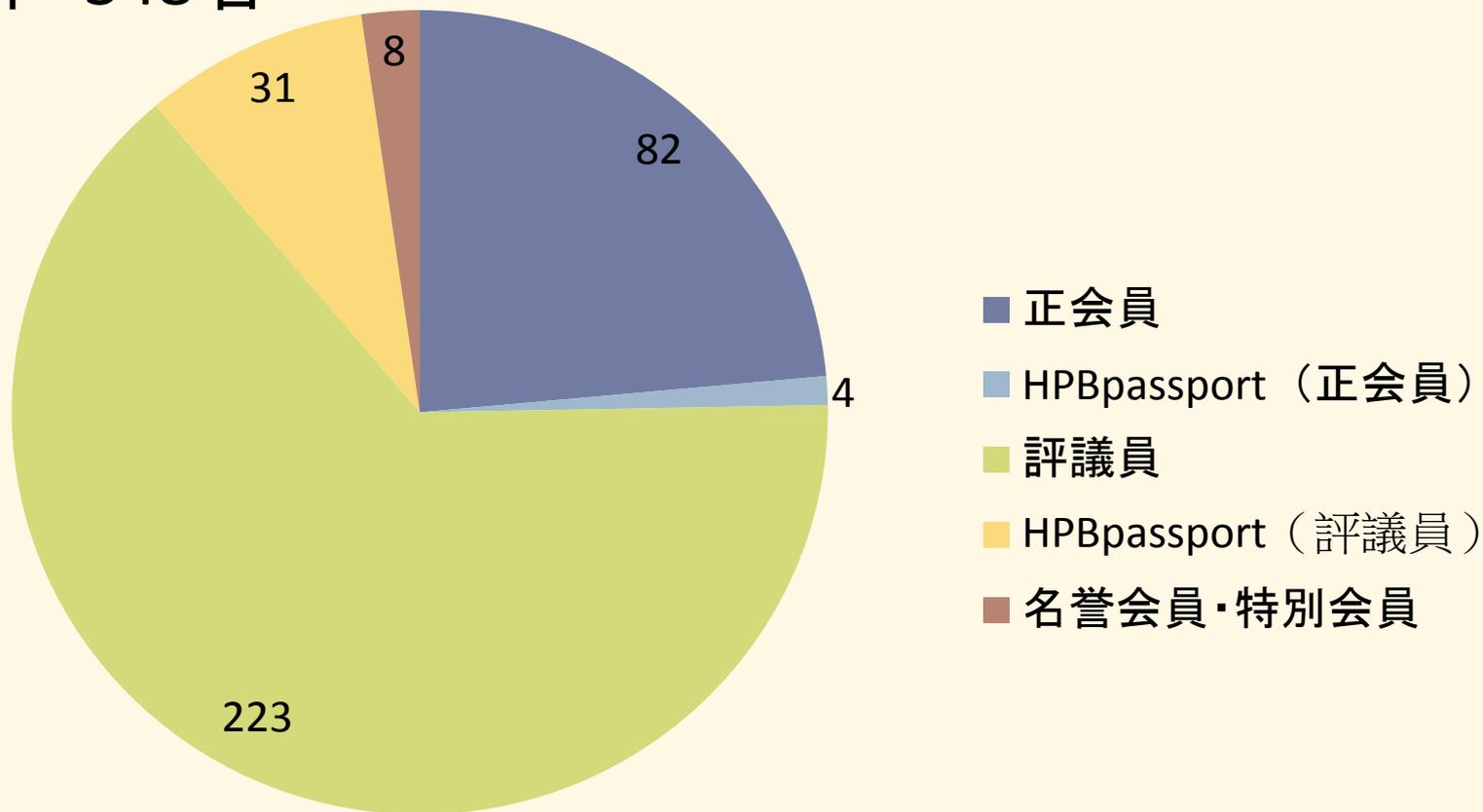


第30回日本肝胆膵外科学会 学術集会後アンケート集計結果 ＝まとめ＝

2018年6月7日～9日
パシフィコ横浜
会長 遠藤 格先生
(横浜市立大学 腫瘍外科学)

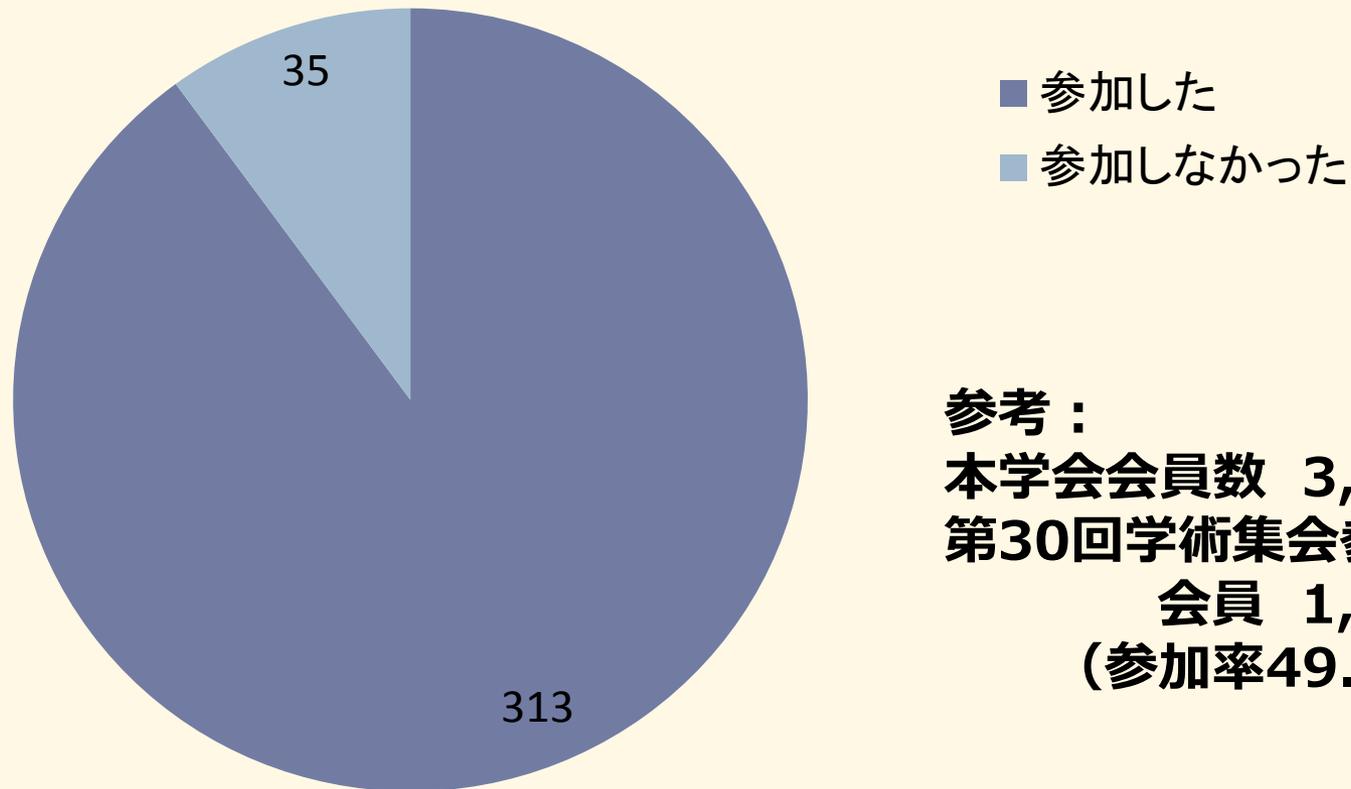
問1-1. 回答者数(会員区分)

合計 348名



問2-1. 学術集会への参加・不参加 まとめ

合計 348名



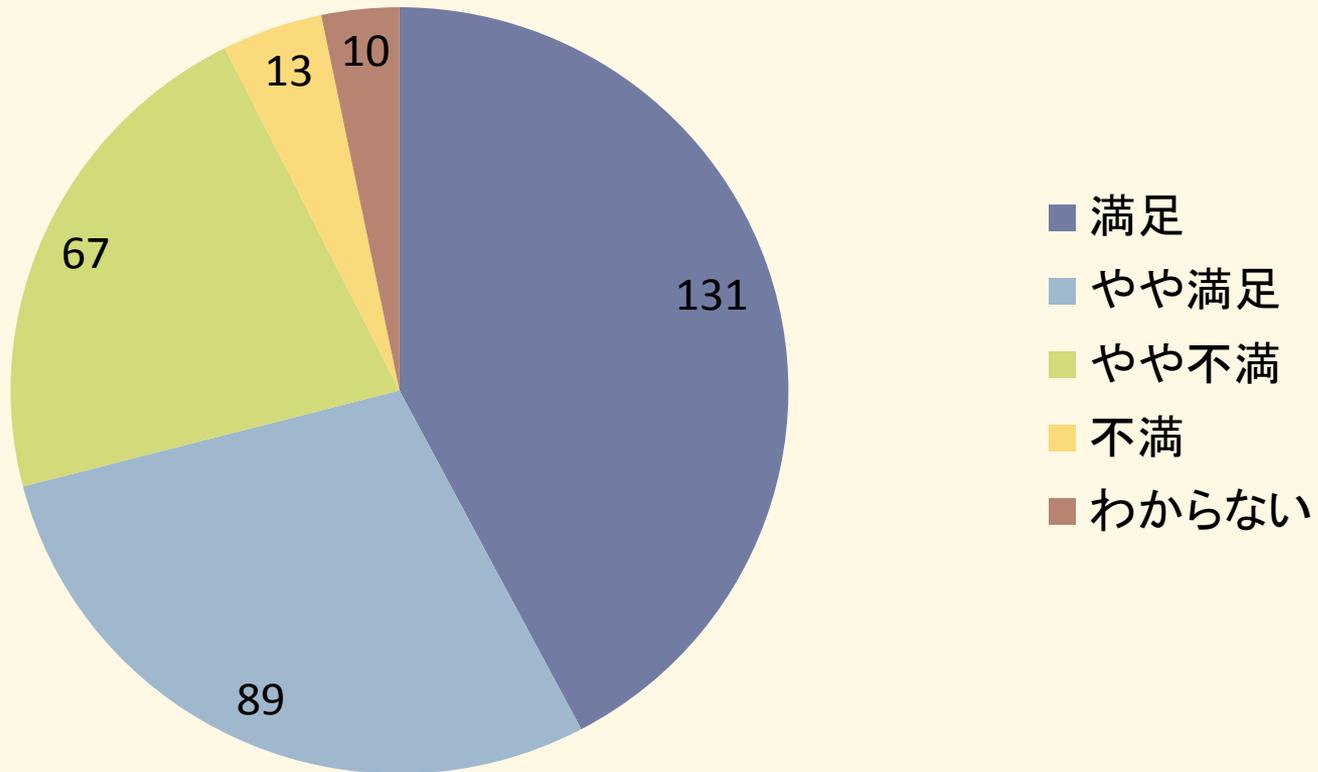
参考：
本学会会員数 3,707名
第30回学術集会参加者数
会員 1,845名
(参加率49.7%)

問2-2. 参加しなかった理由

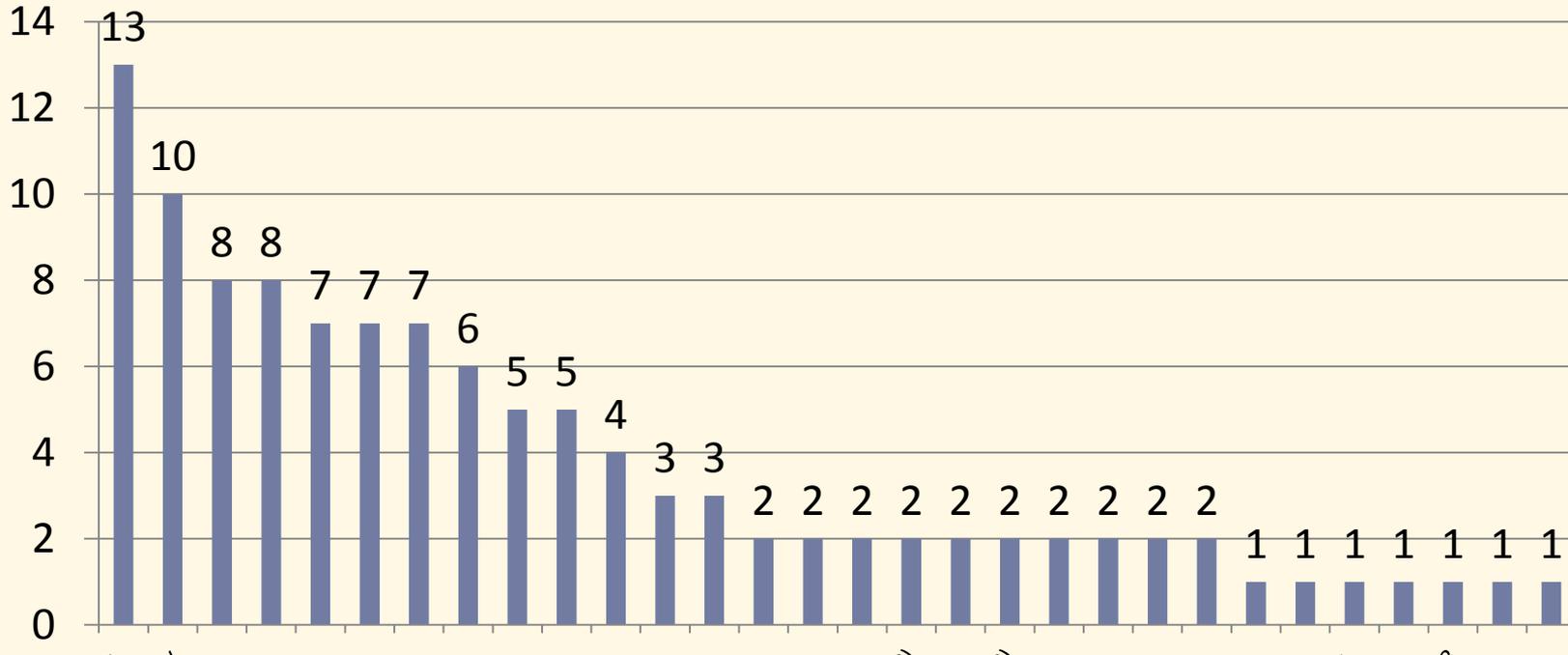
- 英語化したため 15名
- 多忙のため 11名
- その他 7名
 - 健康不順 2名
 - 演題を出さなかった 2名
 - 他の学会と重なっていた 2名
 - 外科が臓器別となり、大腸チーム所属 1名

問3_1.プログラムの学術的評価 まとめ

合計 310名

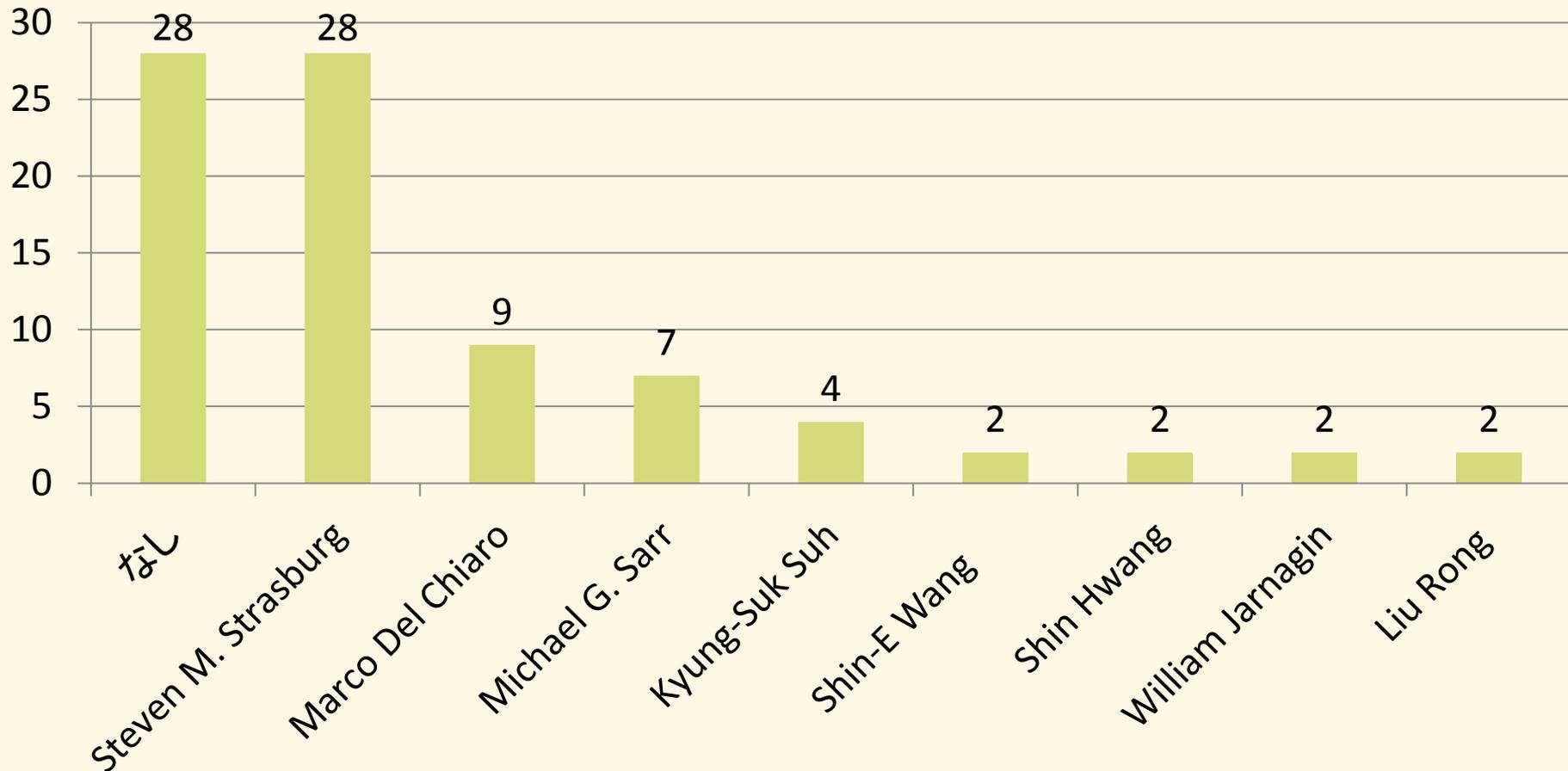


問3_2. プログラムの中で印象に残ったセッション



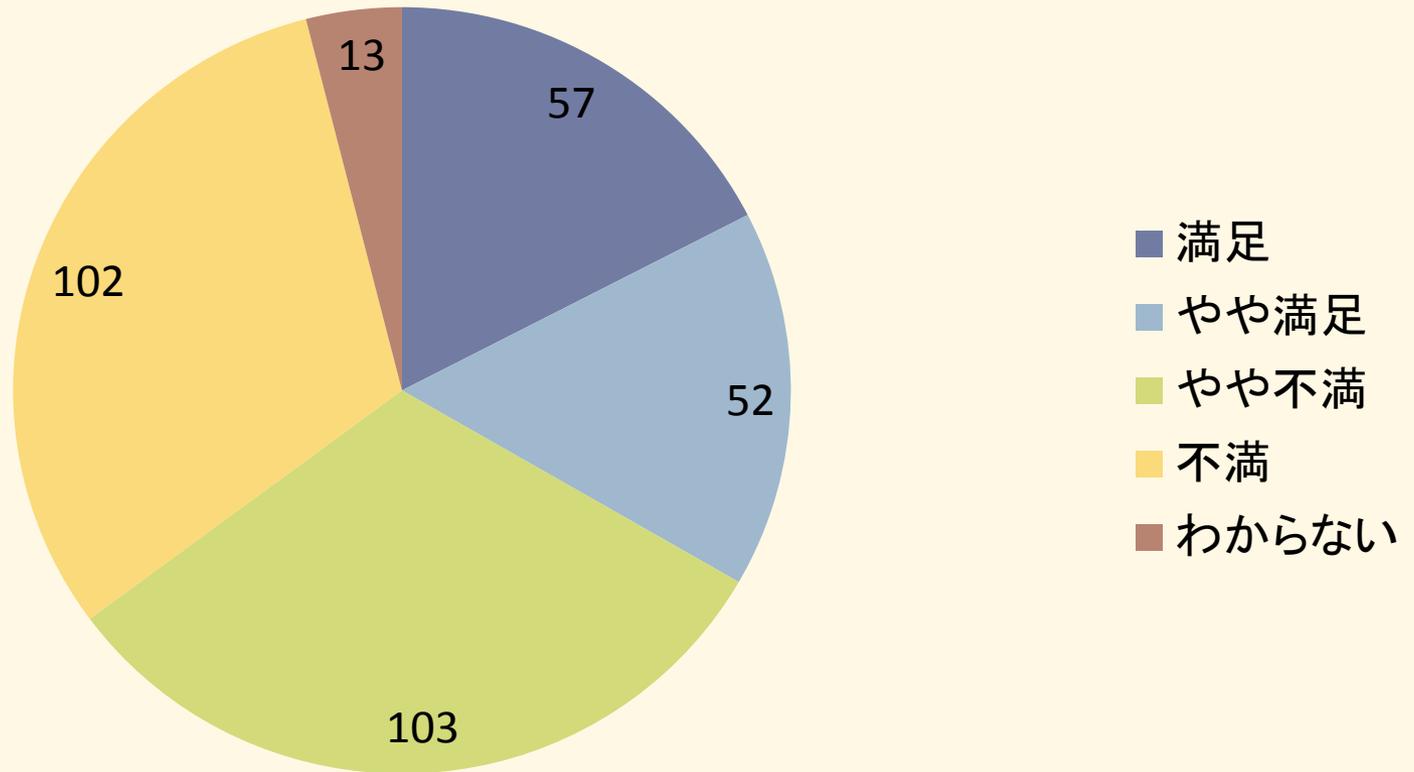
30周年記念式典
International Symposium of Endoscopic Surgery
Overseas Honorary Members Commendation Ceremony
TG18: Safety of Lap-C
30th JSHBPS Special Program
Educational seminar3
なし
Educational Video3
ランチョンセミナー
会長講演
Special Workshop Left Trisectionectomy for Cholangiocarcinoma
Video Symposium1
Educational seminar2
Educational seminar2
Educational seminar4
Educational seminar5
Educational seminar (?)
Educational Video1
Educational Video (?)
Plenary session
Symposium
Symposium 1
Symposium 4
Debate session
Educational seminar 1
Panel discussion1
Panel discussion4
Symposium 3
Video Symposium3
Work shop4

問3_3. プログラムの中で 最も印象に残った海外招待者



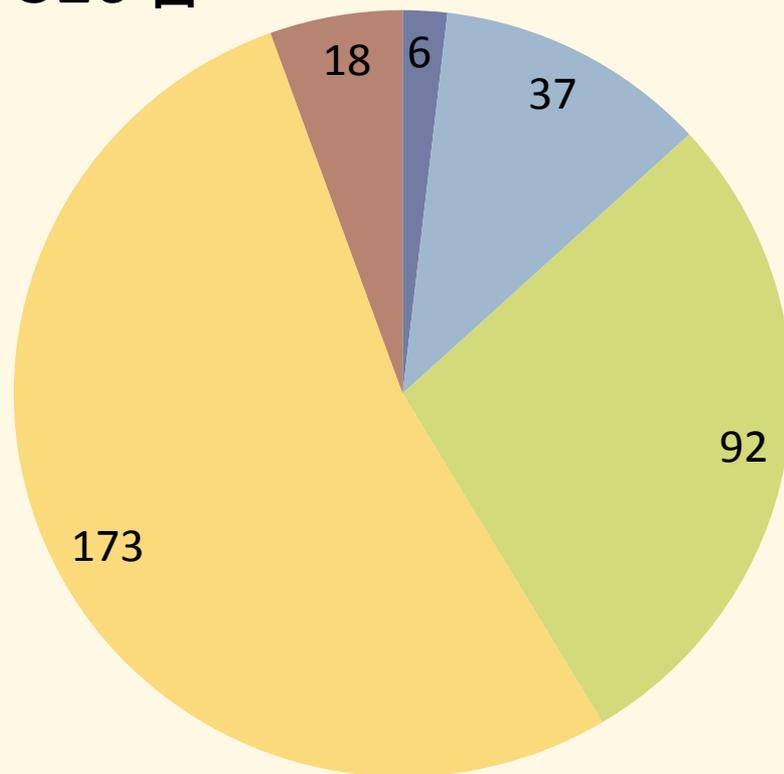
問4_1. プログラムの英語化について まとめ

合計 327名



問4_2.英語でのプログラム中の討論や質問は例年の 日本語でのプログラムと比較して活発であったか まとめ

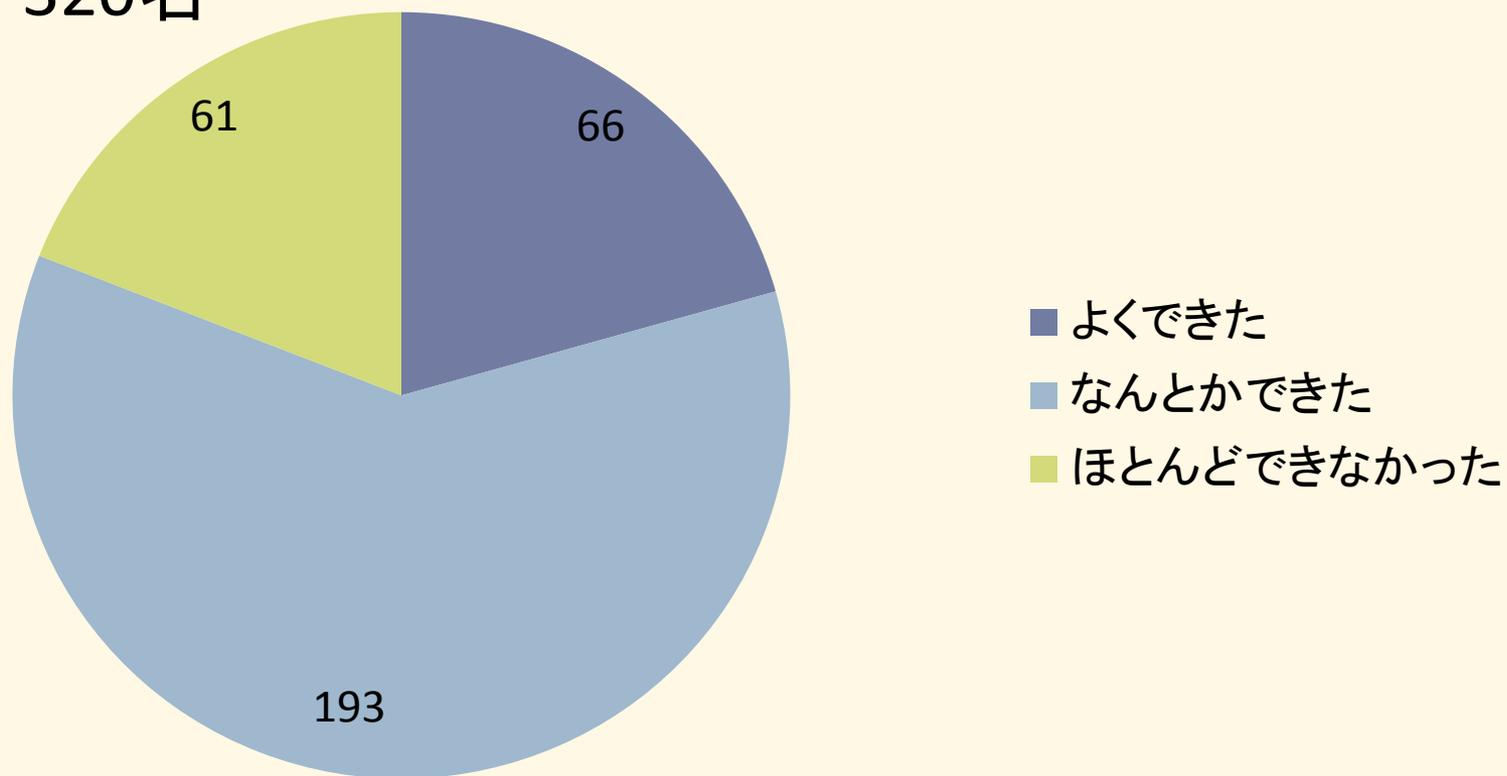
合計 326名



- 例年より活発であった
- 同等であった
- やや低調であった
- かなり低調であった
- わからない

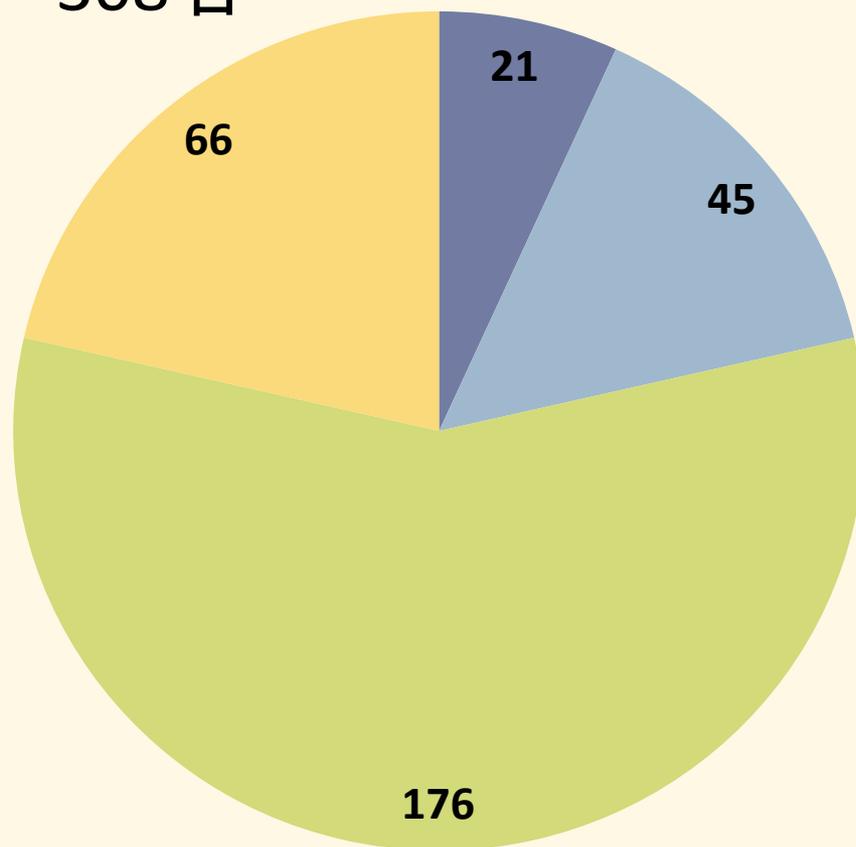
問4_3. 英語でのプログラムの演者・司会者・質問者の 発表内容や発言は理解できたか まとめ

合計 320名



問4_4.英語でのプログラムは日本語と同等の 学術的レベルであったか まとめ

合計 308名



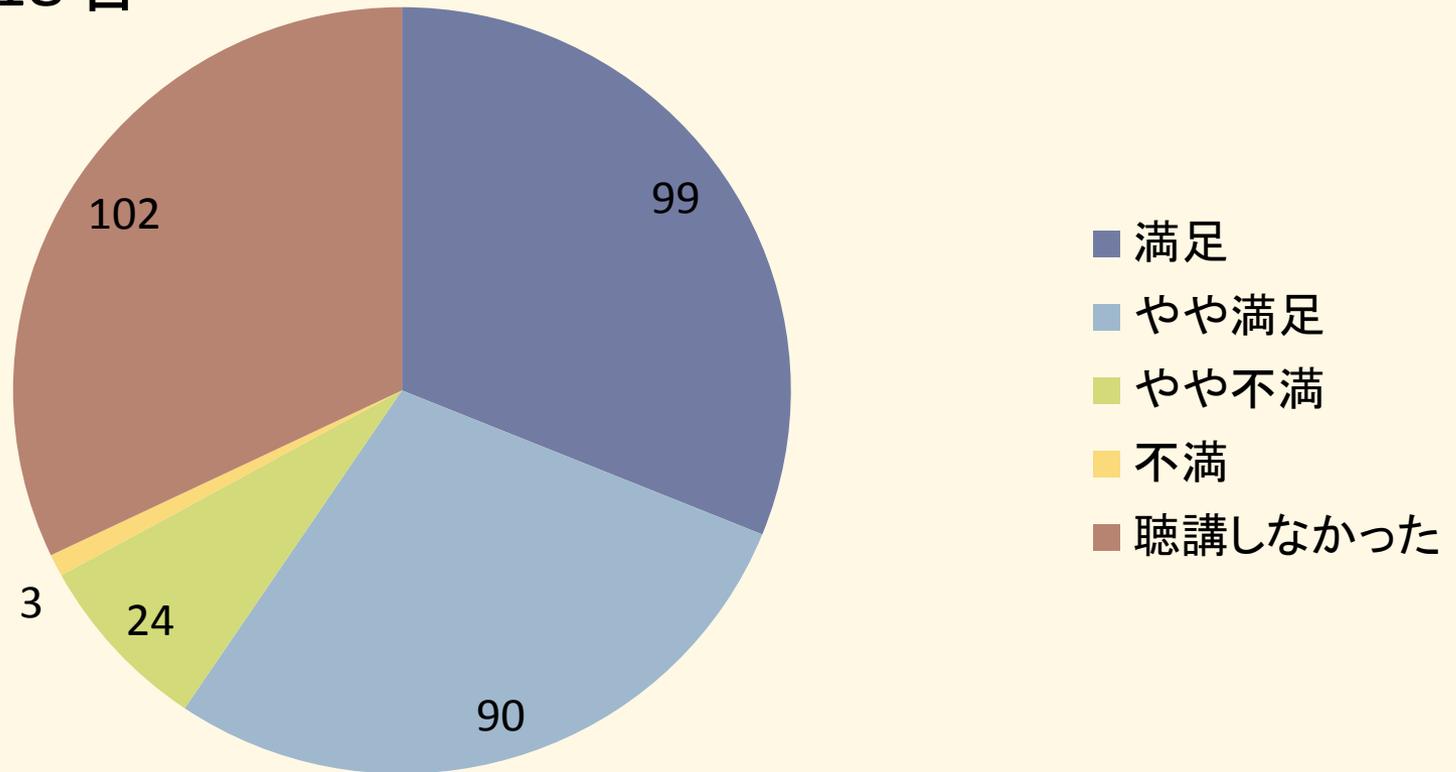
- とてもそう思う
- 少しそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

【誤り】選択肢「かなりそう思う」
回答No.1～No.118のうち
正会員 1名
評議員 4名

※No.119以降「かなりそう思う」
を削除し、「まったくそう思わない」
に修正

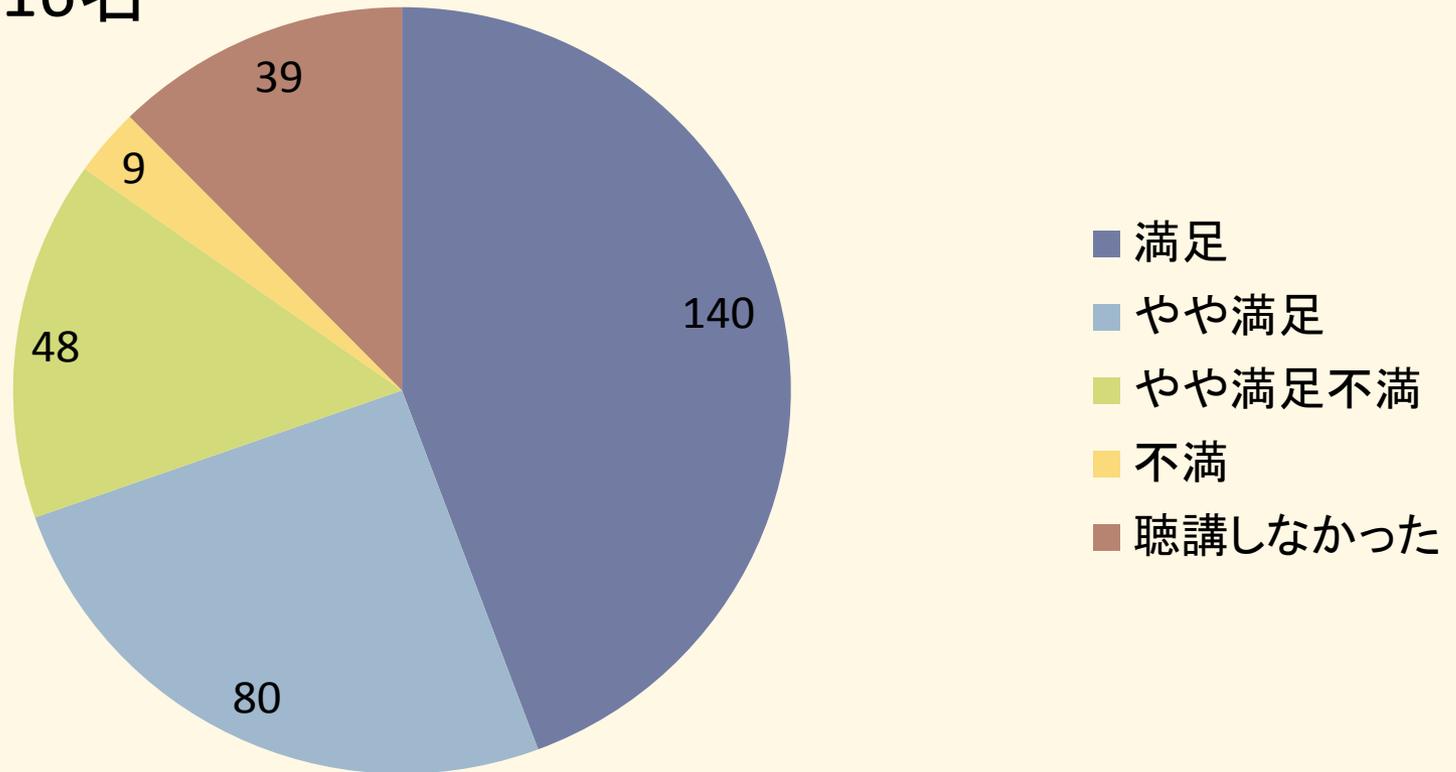
問5_1. 口演 (Best Oral, U-40) について まとめ

合計 318名



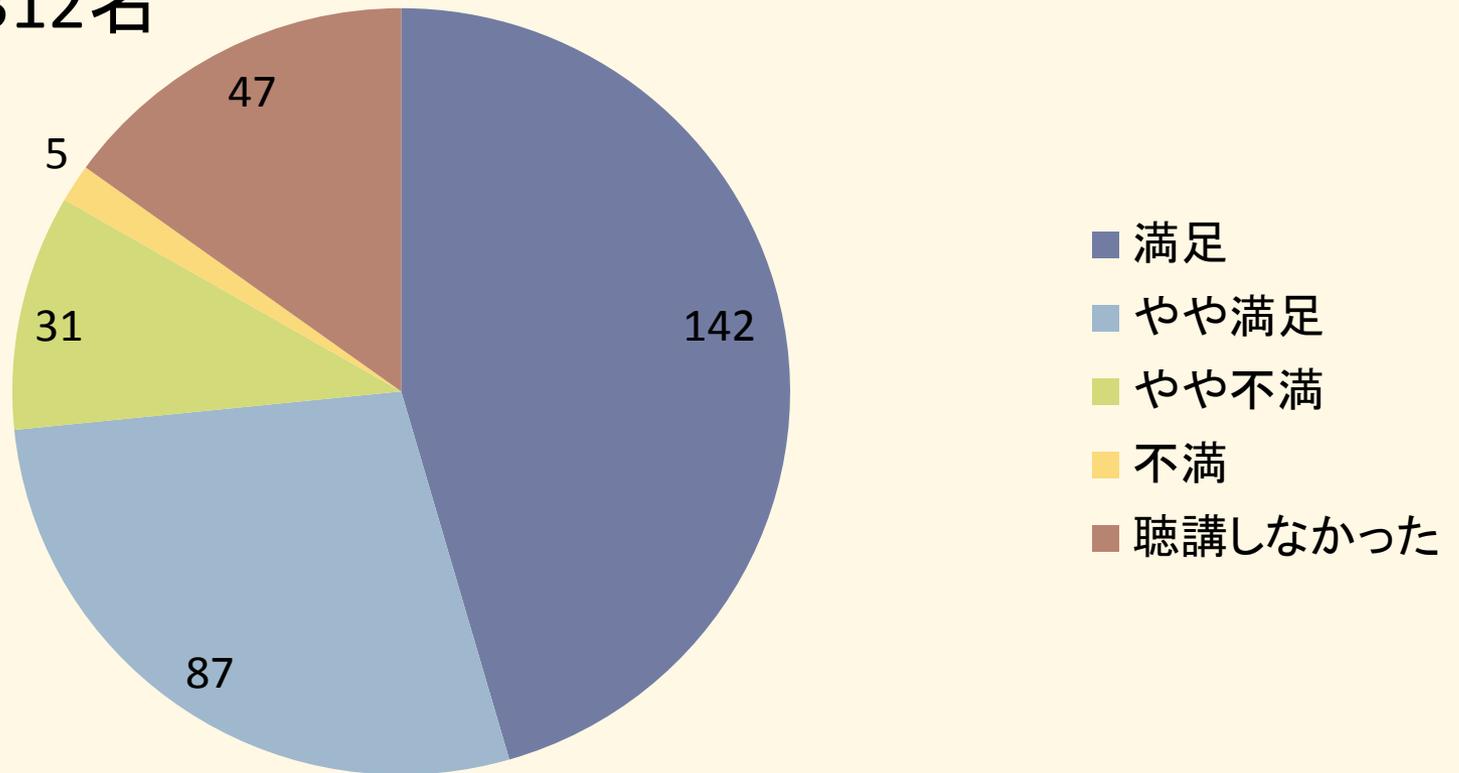
問6_1. ポスター会場の広さ まとめ

合計 316名



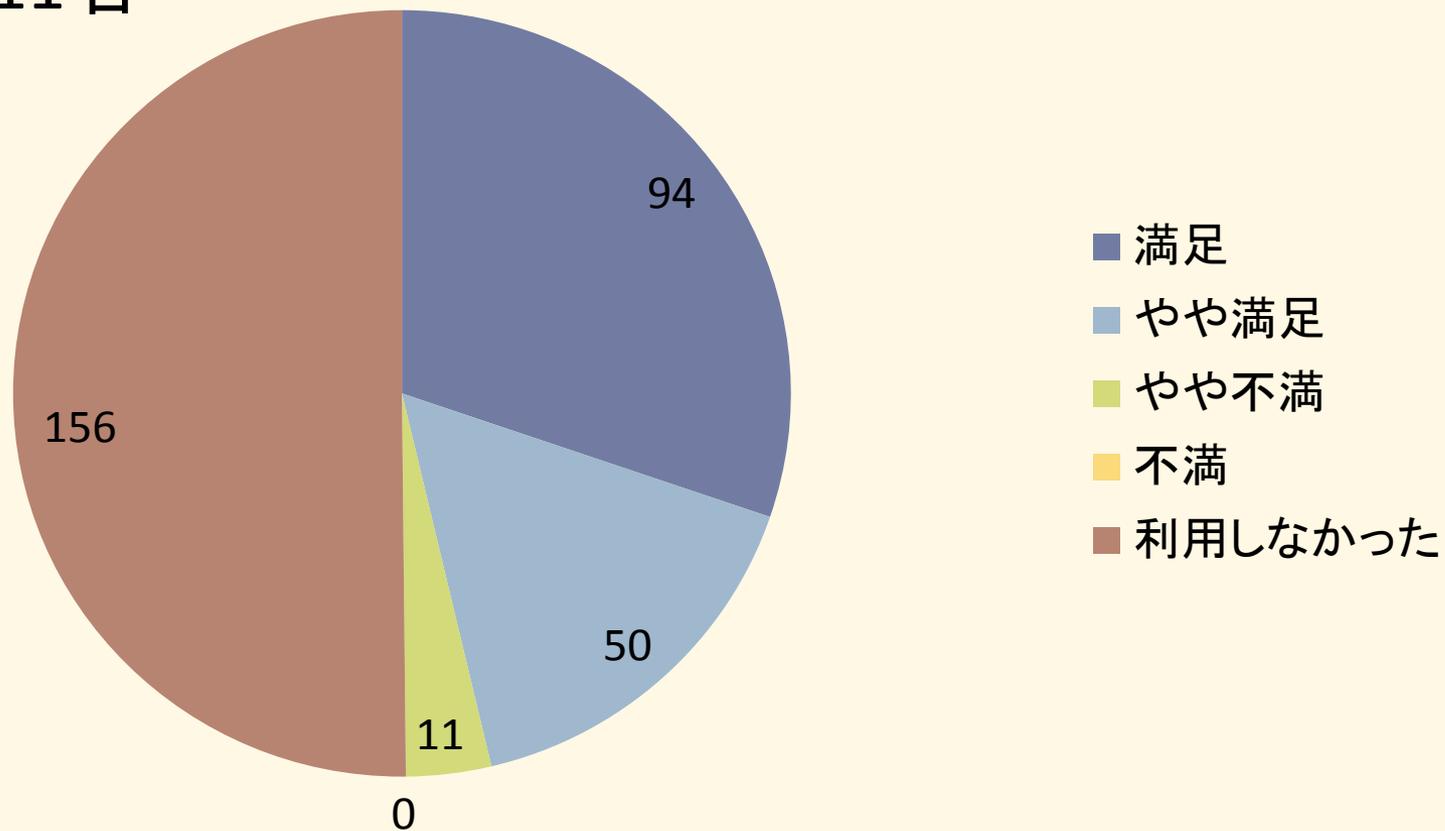
問6_2. ポスター発表時間の長さ まとめ

合計 312名



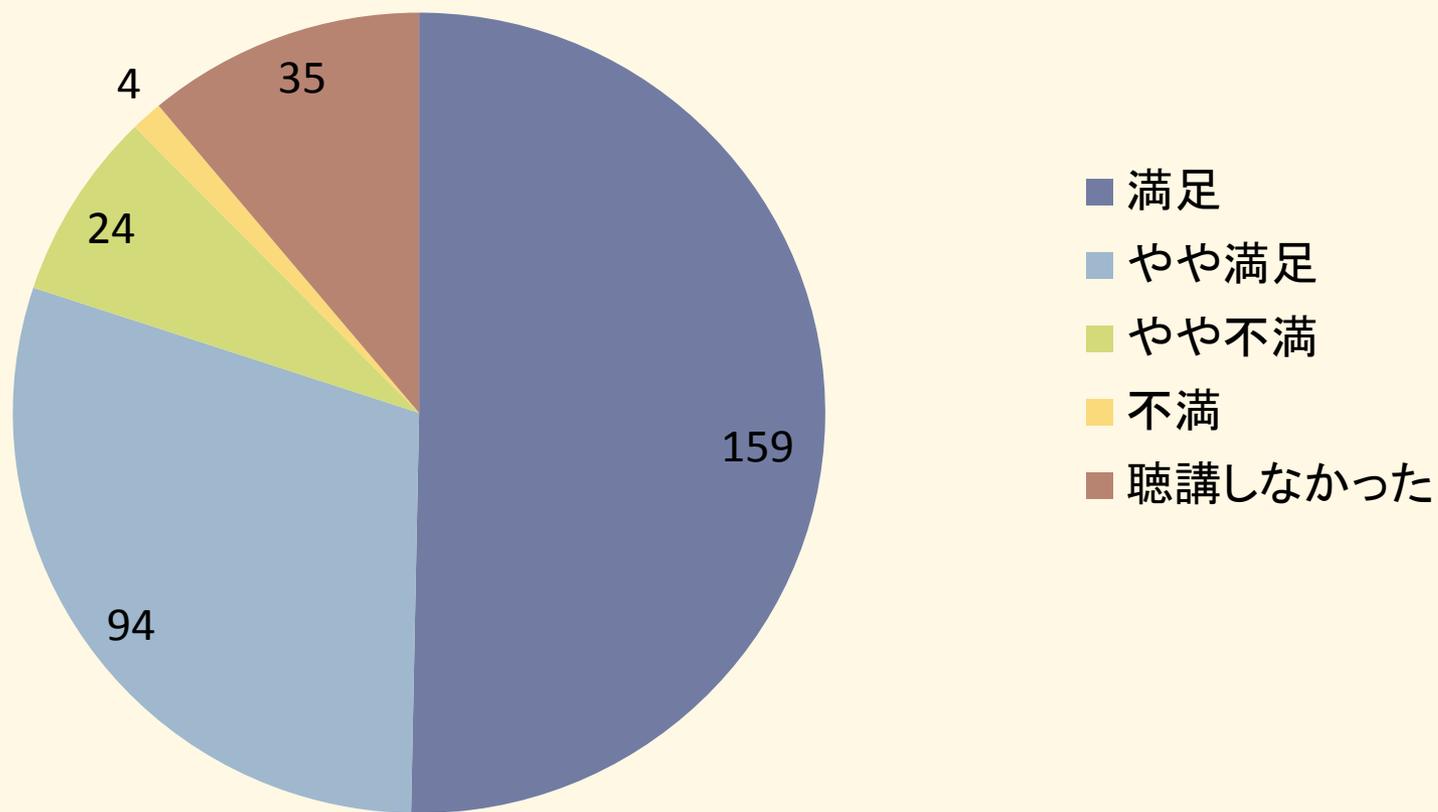
問7_1. PC Previewセンターの運営などの満足度 まとめ

合計 311名



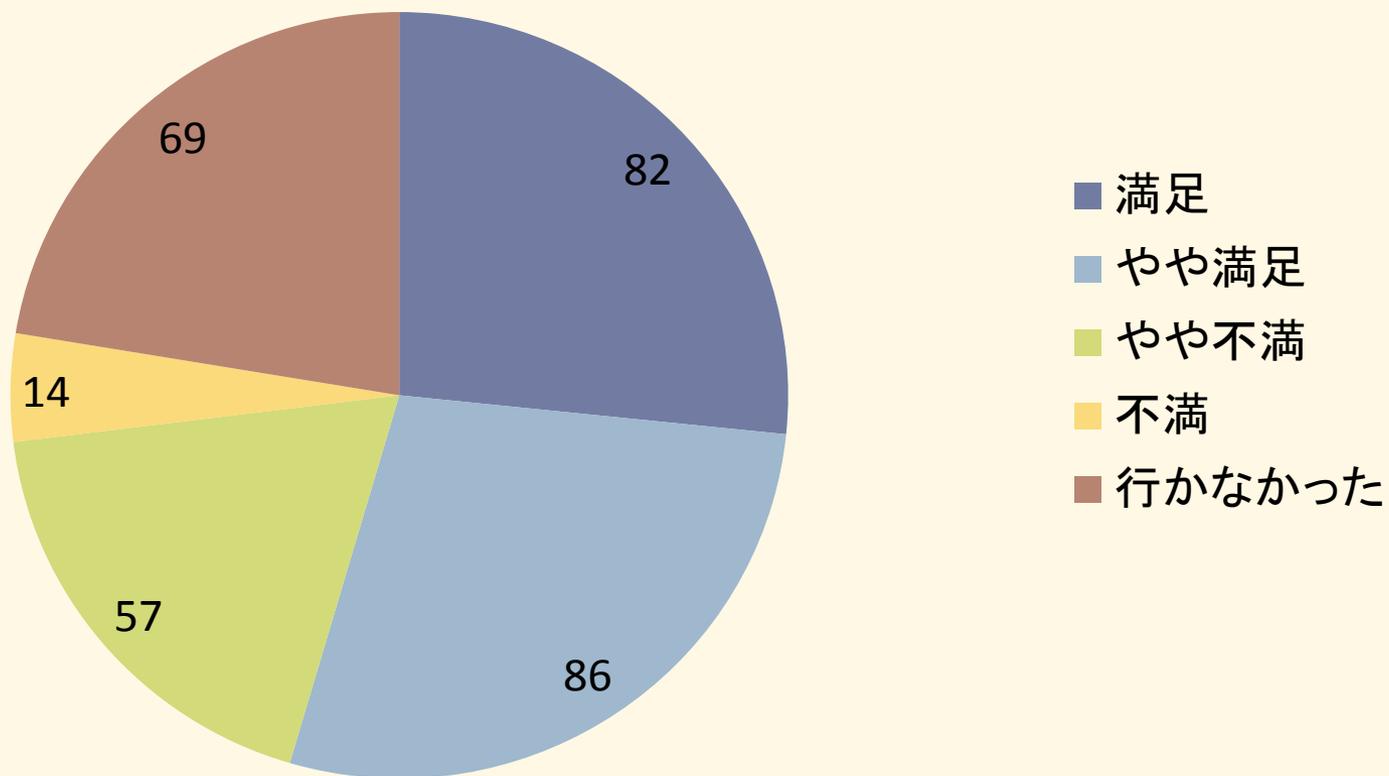
問8_1.ランチオンセミナー・イブニングセミナーの内容 まとめ

合計 316名



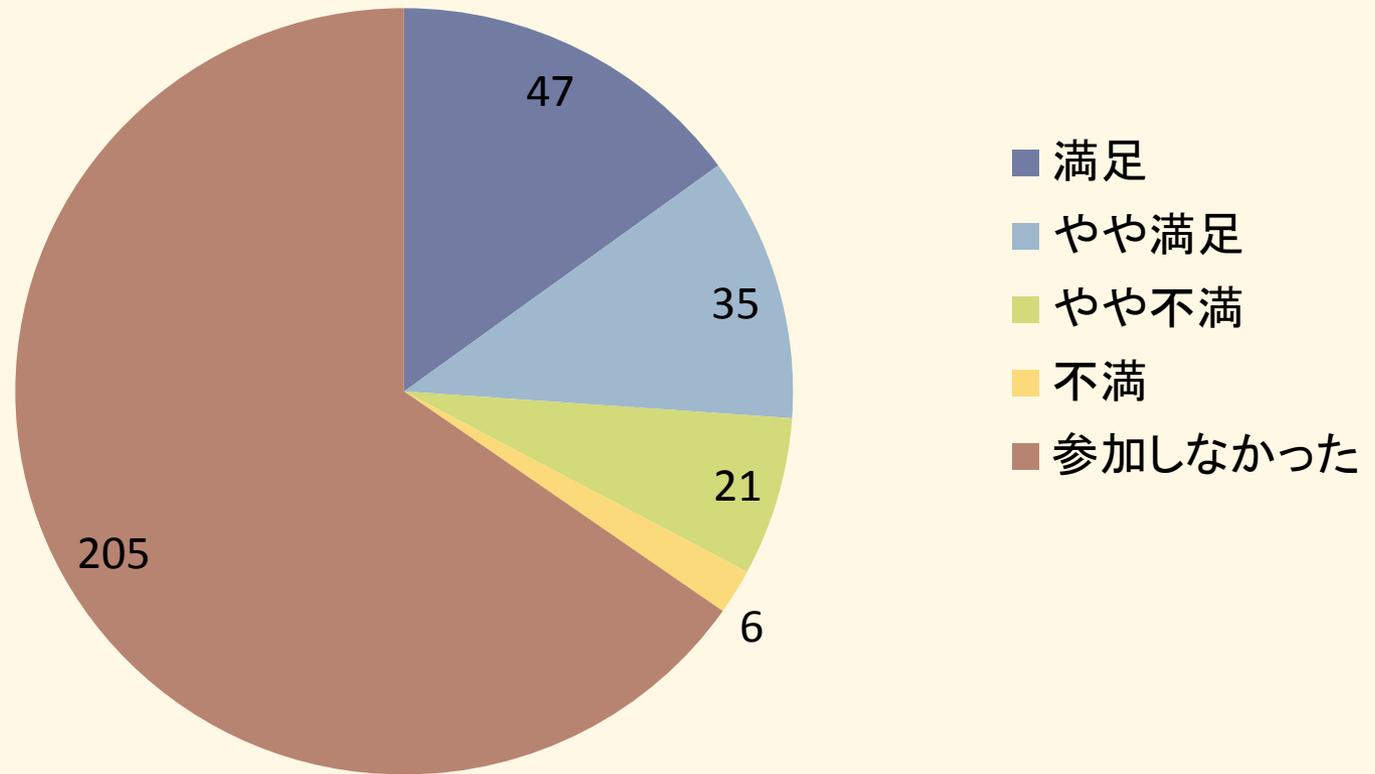
問8_2.企業展示の内容展示の内容 まとめ

合計 308名



問9_1. 全員懇親会の満足度 まとめ

合計 314名



問10_1.交通の便 まとめ

合計 310名

